

第3回岐阜県庁舎再整備検討委員会議事概要

1. 日時：平成27年6月1日（月） 10：00～11：35

2. 場所：岐阜県庁4階 特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

高木座長、足立委員、岡田委員、岡本委員、岡山委員、小川委員（代理）、
田島委員（代理）、中川委員（代理）、猫田委員、舟口委員、松井委員（代理）、
松本委員、矢口委員

(2) 県

知事、総務部長、総務部次長
管財課長、県庁舎再整備企画監、県有施設管理監
防災課長、公共建築住宅課長

4. 議事概要

県庁舎の再整備について、事務局より資料に基づき説明。主な意見は次のとおり。

<県庁舎再整備スケジュール>

- ・早くやれるなら短期間にやった方がよい。

<敷地利用・配置計画>

- ・配置計画の検討は、全体整備方針を踏まえ、直線状に並べるのか、固めるのか、周辺環境への影響などを考慮する必要がある。
- ・両案ともに良いところと悪いところがあるので、使い勝手や動線計画を踏まえて議論した方がよい。
- ・A案は西岐阜駅の方角から見て非常に景観が良い。正面性もある。
- ・県庁舎は使い勝手が大事で、親しまれることも大事である。シンボル性も必要で、それなりに見栄えも重要。B案は裏に隠れてしまったという印象がある。
- ・警察本部と今の県庁舎は連絡通路でつながっているが、A案では付帯施設が真ん中に入って新庁舎があるので、警察本部と新庁舎が直接つながらない。
- ・警察本部の北側に新庁舎をつくった場合、連絡通路を地上につくると長いブリッジになる。道路幅を考慮し、つなぐなら地下になると思う。

<新庁舎の規模についての考え方>

- ・新庁舎を機能的につくることが大事。庁舎に不足しているスペースは当然増やすべき。
- ・現状の職員一人当たり面積が狭すぎる。行政サービスが疎かにならないよう十分考えないといけない。
- ・トイレをしっかり整備する必要がある。特に女性用と多目的トイレの充実を図るべき。

<建物内配置>

- ・議会エリアが上層か下層かという2つの案の他に、議会エリアを行政エリアの横に接続する3つ目の案があっても良いと思う。
- ・議会は県庁の中に入れた方が安くでき、お互いに便利なので良いと思う。
- ・建築的には、上でも下でもどこでもできる。議員の方が構わないのであれば、設計のデザインの中で考えた方が良い。
- ・議会エリアは、ゆったりものを考えるには、開放感があり、外の景色が見える上の階の方が良い。
- ・議会を頻繁に使うのであれば議会が下の方がいいし、職員の使用が多いのであれば、行政エリアが下の方がいい。全体の移動量が少ない方が良い。

<付帯施設等の整備検討>

(文化・商業・飲食施設)

- ・レストランや販売ショップについて、集客のための仕掛けが必要。
- ・職員食堂の需要はあると思うが、別に高級感のあるレストランを整備するのも一つの案だと思う。
- ・県庁は西岐阜駅から歩いて近いようで遠い。多くの方に来てもらうためには移動手段の確保が必要。
- ・西岐阜駅から県庁までの道沿いが、新庁舎や付帯施設などの建物ができることによって様相が変わっていくし、変えていかなくてならない。
- ・文化施設や商業施設をつくっても、一般の人はここまで買いに来ない。県庁は物販などをやる施設ではないので、外でやってもらうべきだと思う。

(駐車場)

- ・立体駐車場は必要であると思う。配置計画にもよるが、北東角に限定して考える必要はないと思う。
- ・現在の駐車場に新庁舎をつくるため、駐車場自体が不足するので、立体駐車場をそれなりにつくってもいいと思う。

(知事公舎及び迎賓機能)

- ・外国からの要人を受け入れる迎賓機能は必要で、県の品格を持ったものをつくと良い。
- ・名古屋市の場合、公館を日常的にいろいろな行事に使っている。新たに整備するなら、普段から使って慣れ親しんでおいて、大事な時は災害対策拠点として使うということも大事だと思う。
- ・知事公舎や迎賓館はよく検討し、様々な意見を踏まえた上で整備することはいいと思う。

(その他)

- ・県庁舎周辺に、セミナー、シンポジウム等の行事を行う適当な施設がない。行事を完結できるものが要ると思う。